◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.331　（2022年度No.9）**　 　2022/3/11

食の行政情報ならびに食中毒情報及びコロナ関係通知をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



**3月3日確定申告に行ってきました　税務署前の河津桜**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-6** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **6-7** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **7-17** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **17-20** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **20-27** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

3月04日　　かわら版330号・かわら版ニュース＆トピックス215号を発行。

3月08日　　かわら版ニュース＆トピックス216号を発行。

3月11日　　かわら版331号・かわら版ニュース＆トピックス217号を発行。

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***第128回厚生科学審議会科学技術部会　資料　2022/3/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24379.html>

**■***NEW***第60回厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会　資料　2022/3/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24313.html>

**■***NEW***フィンランドから輸入される牛肉等の輸入に関する措置の見直し案に関する御意見の募集について　2022/3/7**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495210465&Mode=0>

　受付開始日時　2022年3月7日0時0分　受付締切日時　2022年4月5日23時59分

**■***NEW***薬物乱用防止に関する情報　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index.html>

**■***NEW***令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会　議事録　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24315.html>

**■***NEW***令和３年度 第２回職場における化学物質管理に関する意見交換会　議事録　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24321.html>

**■***NEW***院内感染対策サーベイランス運営会議（持ち回り開催）資料　2022/3/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24329.html>

**■***NEW***令和4年2月28日薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 新開発食品調査部会 新開発食品評価調査会　議事要旨　2022/3/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24282.html>

**■***NEW***令和４年２月18日　第76回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第28回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2022/3/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24051.html>

**■***NEW***第１８回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会　予防接種基本方針部会**

**ワクチン評価に関する小委員会　資料　2022/3/4**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000192554_00020.html>

**■サイバーセキュリティ対策の強化について（注意喚起）　2022/3/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24185.html>

　　昨今の国際情勢、国内自動車部品メーカーからの被害等、サイバー攻撃事案のリスクが高まっている現状を踏まえ、添付ファイルのとおり「サイバーセキュリティ対策の強化について（注意喚起）」を各省との連名で発出しました。

　　関係機関の皆様におかれましては、サイバー攻撃の脅威に対する認識を深め、注意喚起に記載された対策を講ずることにより、対策を強化してください。

サイバーセキュリティ対策の強化について（注意喚起）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000904542.pdf>

**■令和3年度 カネミ油症健康実態調査の結果　2022/3/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24193.html>

　　厚生労働省では、カネミ油症患者の生活習慣、病状、治療内容等を把握し、カネミ油症に関する調査研究を更に推進するため、カネミ油症患者を対象とする調査を実施しました。これは、平成24年９月に「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が施行され、「カネミ油症患者に関する施策の推進に関する基本的な指針」に基づき、平成25年度から実施しているものです。

このほど、令和3年度の調査結果がまとまりましたので公表します。

（別添）令和３年度健康実態調査の結果について（概要）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/000904746.pdf>

（参考）令和３年度健康実態調査結果の報告（本文）

[https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/000904748.pdf](https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/000904748.pdf　)

■**厚生科学審議会科学技術部会全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会（第８回）　2022/3/1**

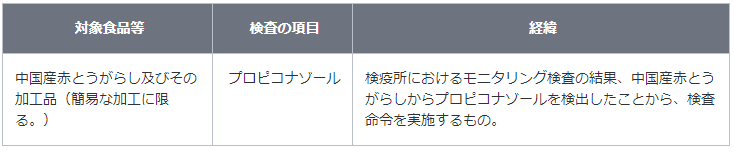
<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_23993.html>

**■輸入食品に対する検査命令の実施　2022/2/28**

**（中国産赤とうがらし、その加工品）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24056.html>

　　本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。



　プロピコナゾールについて

１．農薬（殺菌剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.019 mg/日であり、急性参照用量（人が24時間または、それより短い時間の間の経口摂取により、健康に影響がないとする摂取量）は、体重１kg当たり0.3 mgです。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kgの人が、プロピコナゾールが0.03 ppm残留した赤とうがらしを毎日 38 kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、また、１日に 600 kg摂取したとしても、急性参照用量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

中国産赤とうがらしの違反の内容

１．品名：乾燥赤とうがらし

　　輸入者：株式会社成安

　　製造者：LELING LUXIAN FOOD CO.,LTD

　　届出数量及び重量：180 CT、1,800.00 kg

　　検査結果：プロピコナゾール 0.03 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年11月13日

　　違反確定日：令和３年12月１日

　　貨物の措置状況：全量保管中

２．品名：乾燥赤とうがらし

輸入者：友盛貿易株式会社

製造者：QINGDAO DEESHENGHENGXIN FOOD CO.,LTD.

　　届出数量及び重量：185 CT、1,850.00 kg

　　検査結果：プロピコナゾール 0.02 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

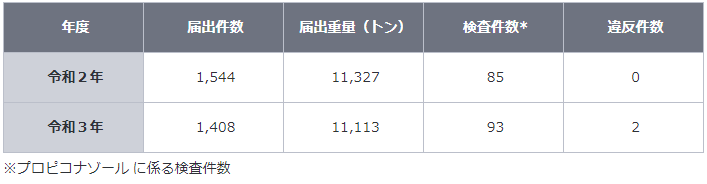
　　届出先：横浜検疫所

日本への到着年月日：令和４年１月25日

　　違反確定日：令和４年２月22日

貨物の措置状況：全量保管中

　参考：中国産赤とうがらしの輸入実績（令和２年４月１日から令和４年２月21日まで：速報値）



**■「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬（ウニコナゾールP等７品目）の残留基準の改正）に関する御意見の募集について　2022/2/21**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495210439&Mode=0>

　受付開始日時 2022年2月21日0時0分

受付締切日時 2022年3月22日23時59分

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２７８報）　2022/3/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24079.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　※ 基準値超過　２件

　No.24　　福島県産　　イノシシ　　（Cs：380 Bq/kg）　福島市

　No.25　　福島県産　　イノシシ　　（Cs：390 Bq/kg）　福島市

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２７７報）　2022/3/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_23966.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　※ 基準値超過　１件

　No. 12　　　福島県産　　　乾燥コウタケ　　　（Cs：490 Bq/kg）　下郷町

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.5/ 2022（2022.03.2）　2022/3/2**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202205m.pdf>

**目次**

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 国際食品安全当局ネットワーク（INFOSAN）2021 年第 4 四半期報告（2021 年 10～12月）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（Salmonella Enteritidis、S. Hadar、S. Indiana、S. Infantis、S. Mbandaka、S.Muenchen）感染アウトブレイク（2021 年 11 月 18 日付最終更新）

2. 水産食品に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（Salmonella Thompson）感染

アウトブレイク（2021 年 12 月 6 日付最終更新）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：冷凍マンゴーに関連して発生した A 型肝炎アウトブレイク（2021 年 10月 12 日付最終更新）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 卵・卵製品に関連して複数国にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella Enteritidisシークエンスタイプ（ST）11）感染アウトブレイク

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. ヒトのサルモネラ症アウトブレイクに関連したペットフード用冷凍マウスの撤去・回収を受け爬虫類の所有者向けに助言を発表

**【オランダ国立公衆衛生環境研究所（RIVM）】**

1. 欧州連合サルモネラリファレンス検査機関（EURL-Salmonella）のタイピング能力試験（2019 年）

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（07）（06）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.5/ 2022（2022.03.2）　2022/3/2**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202205c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202205c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【EPA】 EPA はクロルピリホスを食品から排除し、農場労働者と子供の健康を守るために次の段階へ進む**

米国環境保護庁（EPA）は、2021 年 8 月、食品に使用されるクロルピリホスの全てのトレランスを取り下げる最終規則を発表した。その後、当該規則への意見を募集したところ、トレランス失効の対象範囲、経済や環境への影響、施行時期などを懸念する反対意見が寄せられた。EPA はそれらを注意深く検討したものの、全ての異議申立てを拒否し、次の段階へと進むことを発表する。EPA はクロルピリホス製品の登録者に向けて、食品への使用のトレランス失効を受けて、登録をキャンセルするか、ラベルを改訂して食品への使用に関する表示をなくすという選択肢があることを伝えている。自主的にキャンセルしない場合は、連邦殺虫剤殺菌剤殺鼠剤法のもと、キャンセルのための意向通知（Notice of Intent to Cancel）を発出するつもりである

**＊ポイント：** 米国では、クロルピリホスの食品への使用に関する全てのトレランスが2022 年 2 月 28 日に失効しました。EPA は食品以外への使用についても引き続きレビューを行うとしています。トレランス失効に合わせて、米国食品医薬品局（FDA）が管轄する食品の流通政策に関する業界向けガイダンスを発表したので、そちらも紹介しています。

**【EC】 エチレンオキシド（ETO）に関する技術会議概要**

EU 加盟国、ノルウェー、スイス、欧州食品安全機関 (EFSA) 、欧州委員会、EU リファレンスラボが出席し、さまざまな食品からの検出が問題になっているエチレンオキシドとその代謝物 2-クロロエタノール（2CE）への対応について議論した技術会議（2022 年 1月 20 日）の概要報告。

**＊ポイント：** 2020 年のインド産ゴマ種子からの検出がきっかけとなった問題ですが、現在は食品添加物やそれを使用した複合食品、サプリメント、ベビーフード、飼料といった加工製品へと問題が広く拡大したため、各加盟国による管理体制が混乱し、様々な課題が生じている様子がうかがえます。これまで 2CE の毒性が不確実な点として注目されていましたが、近々、欧州食品安全機関（EFSA）が声明を発表する予定とのことです。

**【BfR】 ニコチンパウチの健康リスク評価**

ニコチンパウチはニコチンを含む粉末を入れた小さな袋である。使用時は上唇と歯茎の間に最大 30 分間置かれ、主に口腔内の粘膜上皮からニコチンが吸収される。製造業者によると、ニコチン塩の他に微結晶セルロース、各種塩類（例：炭酸ナトリウム及び炭酸水素塩）、クエン酸及び香料化合物などが混合されているが、タバコは含まれていない。ドイツの中毒情報センターにはニコチンパウチの使用が関連するいくつかの中毒事例が報告されている。ドイツ当局は、ニコチンパウチを新規食品として分類している。これら製品による健康への影響の可能性についてドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）が評価結果を公表した

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第851回）の開催について　2022/3/10**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年3月15日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・動物用医薬品 １品目

　　　　豚増殖性腸炎乾燥生ワクチン（エンテリゾールイリアイティスTF、同FC、同HC、同HL）

　　　　（農林水産省からの説明）

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・動物用医薬品「グリカルピラミド」に係る食品健康影響評価について

　　　・遺伝子組換え食品等「Bacillus subtilis NTI04 (pHYT2TD) 株を利用して生産されたα-グルコシルトランスフェラーゼ」に係る食品健康影響評価について

　　　・遺伝子組換え食品等「JPAo007株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ」に係る食品健康影響評価について

　　　・遺伝子組換え食品等「JPAo008株を利用して生産されたアミノペプチダーゼ」に係る食品健康影響評価について

（３）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、3月14日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、3月15日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■令和４年度食品安全委員会運営計画（案）についての意見の募集について　2022/2/18**

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_kikakutou_unei4_020218.html>

　令和４年２月１８日から令和４年３月１９日までの間、意見の募集を行います

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年2月11日から令和4年2月25日）2022/3/10**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=2&from_day=11&to=struct&to_year=2022&to_month=2&to_day=25&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」の結果公表について　2022/3/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/220310.html>

　　農林水産省では、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を実施しています。

この運動の一環として、消費者の日常の消費行動や、食や農に対する意識、普段の食事の実態等を把握するため、「食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～」を実施し、結果を取りまとめましたので、公表します。

1.調査の目的及び背景

農林水産省では、食と環境を支える農業・農村への国民の理解を醸成するため、令和3年度より、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

本運動の一環として、消費者の日常の消費行動や、食や農に対する意識、普段の食事の実態等を把握することを目的として実施した調査の結果を公表します。

2.調査手法　以下の手法により、調査を実施しました。

1)定量調査

全国の4000名を対象として、消費者がどのように情報を入手し、どのような意識で食品等を購入しているか、また、食や農に対してどのような意識を持っているか等を調査しました。

2)写真調査

全国の30名を対象として、1週間の食事の写真を撮影し、食事時間やメニュー、食料自給率の予測値等について回答する調査を実施しました。

3.調査結果（概要）

1)定量調査

食に関して重視していることについては、「できるだけ日本産の商品であること」回答した割合が最も高く、次に、「同じような商品であれば出来るだけ価格が安いこと」と回答した割合が高い結果となりました。

また、現在の日本の農業の課題としては、食品ロスの削減、農業従事者の減少・高齢化、食料自給率の低下についての認知度が高い結果となりました。

2)写真調査

対象者の食料自給率（カロリーベース）の7日間の平均値は40%と、令和2年度のカロリーベース食料自給率37%の数値を若干上回る結果となりました。

また、主食の割合について「米食」は41%、「パン食」は19%、「麺類」は14%という結果になりました。

調査の結果を農林水産省ホームページにて掲載しております。

URL：<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/koudou.html>

添付資料

食生活・ライフスタイル調査～令和3年度～

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/attach/pdf/220310-1.pdf>

**■***NEW***合同会社リュウセイにおける生鮮水産物の不適正表示に対する措置について　2022/3/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/220309.html>

　農林水産省は、合同会社リュウセイ（本社：熊本県宇土市住吉町2212番地1。法人番号6330003007706。以下「リュウセイ」という。）が、生鮮水産物あさりの原産地について中国産又は韓国産であるにもかかわらず、「熊本産」と事実と異なる表示をし、販売していたことを確認しました。

このため、本日、リュウセイに対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。

1.経過

農林水産省九州農政局が、令和3年11月11日から令和4年2月16日までの間、リュウセイに対し、食品表示法（平成25年法律第70号）第8条第2項の規定に基づく立入検査等を行いました。

この結果、農林水産省は、リュウセイが、原産地が中国産又は韓国産の生鮮水産物あさりについて、輸出国における成育期間より熊本県での蓄養期間の方が短いにもかかわらず、「熊本産」と表示をして、少なくとも令和2年6月18日から令和3年5月3日までの間に、926,488 kgを中間流通業者20社に販売したことを確認しました。

2.措置

リュウセイが行った上記1の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）第18条第1項の表の「原産地」の表示の方法の規定に違反するものです（別紙参照）。

このため、農林水産省は、リュウセイに対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行いました。

指示の内容

(1)販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。

(2)販売していた食品について、不適正な表示を行った主たる原因として、食品表示制度に関する法令遵守の認識が著しく欠如していたと考えざるを得ないことから、これを含めた原因の究明・分析を徹底すること。

(3)食品表示制度の遵守を徹底し、再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後、販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。

(4)全役員及び全従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。

(5)(1)から(4)までに基づいて講じた措置について、令和4年4月11日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

参考

本件について、農林水産省九州農政局でも同様のプレスリリースを行っております。

　添付資料

別紙 食品表示法

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220309-1.pdf>

参考 合同会社リュウセイの概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/220309-2.pdf>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220309.html>

　農林水産省は、3月7日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ミズーリ州、メリーランド州及びサウスダコタ州からの、3月9日（水曜日）にアイオワ州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ミズーリ州、メリーランド州、サウスダコタ州及びアイオワ州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月7日（月曜日）にミズーリ州、メリーランド州及びサウスダコタ州からの、令和4年3月9日（水曜日）にアイオワ州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

ミズーリ州、メリーランド州及びサウスダコタ州全域

（参考）アイオワ州からの生きた家きんについては、令和4年3月3日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ミズーリ州ストッダード郡及びベイツ郡、メリーランド州セシル郡、サウスダコタ州チャールズミックス郡並びにアイオワ州ブエナビスタ郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

**令和3年10月8日付けプレスリリース「米国カリフォルニア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211008.html>

**令和3年11月29日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_3.html>

**令和4年1月13日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220113_7.html>

**令和4年2月10日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220210_8.html>

**令和4年2月17日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220217.html>

令和4年2月18日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220218_8.html>

令和4年2月21日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221_2.html>

**令和4年2月22日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220222_5.html>

**令和4年2月25日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220225.html>

**令和4年3月4日付けプレスリリース「米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304.html>

**■***NEW***「我が国における国際水準GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインの策定について　2022/3/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/220309.html>

　 農林水産省は、昨日3月8日に開催した「第4回国際水準GAP推進検討会」を踏まえ、「我が国における国際水準GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインを策定しましたのでお知らせします。

1．経緯

　 GAP（Good Agricultural Practices：農業生産工程管理）とは、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動であり、食品の安全性向上、環境の保全労働安全の確保等に資するとともに、農業経営の改善や効率化につながる取組のことです。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という。）における食材の調達基準としてGAP認証等が採用され、東京大会への食材提供を目指し、GAPの取組を推進してきた結果、生産現場におけるGAPの認知度が向上し、全国でGAPの取組が広がりました。我が国の農業の持続的な発展のためには、東京大会後もGAPの取組を引き続き拡大していく必要があることから、令和3年11月、GAPに係る農業者、有識者等の関係者からなる「国際水準GAP推進検討会」を設置し、今後、どのように国際水準GAPを推進していくべきかについて、議論を進めてきました。

昨日3月8日に開催した「第4回国際水準GAP推進検討会」において、「我が国における国際水準GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインをとりまとめました。

2．「我が国における国際水準GAPの推進方策」の概要

「我が国における国際水準GAPの推進方策」では、

国際水準GAPに取り組むことで、農業者自らがSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に貢献できることを理解し、これを実需者・消費者にも広く発信していくこと

国際水準GAPガイドラインの策定により我が国共通の取組基準を明確にし、国と都道府県が一体となって国際水準GAPを進めていくこと

を基本方針としています。その実現に向けた具体的な取組として、

国際水準GAPの取組内容の標準化及び生産現場へのわかりやすい説明ツールの作成

GAPの取組データのデジタル化を促進し、農業者のSDGsや環境負荷低減等への貢献を見える化

都道府県の指導体制の強化

JA等と連携した面的取組の拡大

実需者や消費者の国際水準GAPの認知度向上

を進めていくこととしています。

こうした取組により、「2030年までにほぼ全ての産地で国際水準GAPが実施されるよう、現場での効果的な指導方法の確立や産地単位での導入を推進」という目標達成に向け、国際水準GAPの取組拡大を進め、我が国の農業の競争力強化と持続的な発展につなげるとともに、SDGsが目指す経済・社会・環境が調和した持続可能な世界の実現を図ってまいります。

3．参考

　「我が国における国際水準 GAPの推進方策」及び国際水準GAPガイドラインは、農林水産省ウェブサイト　<https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>　からご覧いただけます。

**■***NEW***岩手県久慈市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内16例目）に係る移動制限の解除について　2022/3/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220308.html>

　　岩手県は、同県久慈市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内16例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年3月8日（火曜日）午前0時（3月7日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）岩手県は、同県久慈市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内16例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）岩手県は、同県久慈市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年3月1日16時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、岩手県は、国内16例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年2月14日の翌日から起算して21日が経過する令和4年3月8日（火曜日）午前0時（3月7日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内16例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220212.html>

**岩手県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内16例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220216.html>

**岩手県久慈市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内16例目）に係る搬出制限の解除について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220301.html>

**■***NEW***フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220307.html>

　　農林水産省は、3月3日（木曜日）にフランスのロワール・エ・シェール県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

フランスのアンドル・エ・ロワール県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域が隣接するロワール・エ・シェール県に及んだ旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。

（参考）アンドル・エ・ロワール県からの生きた家きん、家きん肉等について、高病原性鳥インフルエンザの発生により、令和4年2月16日以降、一時輸入停止措置をしています。

2.対応

フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月3日（木曜日）にロワール・エ・シェール県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました（※）。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

**令和2年11月18日付けプレスリリース「フランスのオート・コルス県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201118_3.html>

**令和2年11月24日付けプレスリリース「フランスのイヴリーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201124_6.html>

**令和3年2月1日付けプレスリリース「フランスのアルデンヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210201.html>

**令和3年3月17日付けプレスリリース「フランスのオー・ラン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210317_3.html>

**令和3年4月26日付けプレスリリース「フランスのバ・ラン県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210426.html>

**令和3年9月21日付けプレスリリース「フランスのエーヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210921.html>

**令和3年11月29日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211129_2.html>

**令和3年12月20日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211220.html>

**令和3年12月23日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211223_3.html>

**令和4年1月5日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220105_5.html>

**令和4年1月17日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220117.html>

**令和4年2月14日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220214_3.html>

**令和4年2月18日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220218_9.html>

**令和4年2月21日付けプレスリリース「フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221.html>

**■***NEW***オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2022/3/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304_4.html>

　　農林水産省は、3月3日（木曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダのヘルダーラント州及び北ブラバント州の家きん飼養農場において、新たに高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月3日（木曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、ヘルダーラント州での発生に伴い設定された制限地域が及んだ第13番の区域及び北ブラバント州での発生が確認された第17番の区域。なお、ヘルダーラント州での発生が確認された第10番の区域については、令和4年1月25日以降、一時輸入停止措置をしています。

（※2） 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

令和2年10月30日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201030.html>

令和2年11月17日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201117_3.html>

令和3年10月28日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211028.html>

令和3年11月2日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211102.html>

令和3年11月4日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211104.html>

令和3年11月5日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211105.html>

令和3年11月18日付けプレスリリース「オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211118.html>

令和3年12月22年付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211222_6.html>

令和4年1月25日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220125.html>

令和4年1月26日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220126_9.html>

**令和4年2月21日付けプレスリリース「オランダからの生きた家きん等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220221_3.html>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/3/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304.html>

**農林水産省は、3月3日（木曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ニューヨーク州、コネチカット州及びアイオワ州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ニューヨーク州、コネチカット州及びアイオワ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年3月3日（木曜日）にニューヨーク州、コネチカット州及びアイオワ州からの生きた家きん家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】**

**コネチカット州及びアイオワ州全域**

**（参考）ニューヨーク州からの生きた家きんについては、令和4年2月21日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**ニューヨーク州アルスター郡及びダッチェス郡、コネチカット州ニューロンドン郡並びにアイオワ州ポタワタミー郡（発生郡）**

**※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。**

**※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。**

**■***NEW***香港向け家きん由来製品の輸出再開について（鹿児島県及び愛媛県）　2022/3/4**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220304_5.html>

　本日より、鹿児島県及び愛媛県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、発生県のうち、香港当局から高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた6県において輸出を再開してきたところ、今般、鹿児島県及び愛媛県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の発生県に関する輸出再開協議を行ってまいります。

＜2021年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：9.8億円（鶏肉の総輸出額13.0億円）

香港向け鶏卵：57.3億円（鶏卵の総輸出額58.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜過去の経緯＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月10日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和3年11月13日：鹿児島県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年12月31日：愛媛県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年1月31日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年2月22日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年3月4日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

＜香港が輸入を一時停止している県＞

千葉県、岩手県

参考

動物検疫所ホームページ

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/>

**■ブルガリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2022/3/2**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220302.html>

　　農林水産省は、今般、ブルガリアの一部州における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

ブルガリアの家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、令和2年2月以降、同国からの家きん肉等について輸入を一時停止していました。

2.対応

今般、ブルガリア家畜衛生当局から我が国に提供された鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、一部州（※1）の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付けで当該一時輸入停止措置（※2）を解除しました。

※1：ブラゴエブグラト州、ブルガス州、ガブロヴォ州、クルジャリ州、キュステンディル州、ロヴェチ州、モンタナ州、ペルニク州、プレヴェン州、ラズグラト州、ルセ州、シュメン州、シリストラ州、スリヴェン州、スモリャン州、ソフィア市、ソフィア州、トゥルゴヴィシテ州、ヴァルナ州、ヴェリコ・タルノヴォ州、ヴィディン州、ヴラツァ州、ヤンボル州

※2：発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

**令和2年2月20日付けプレスリリース「ブルガリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置について」**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/200220.html>

**■遺伝子組換えダイズ、トウモロコシ及びセイヨウナタネの第一種使用等に関する審査結果についての意見・情報の募集(パブリックコメント) について　2022/3/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouan/220301.html>

　　農林水産省は、遺伝子組換え農作物の一般使用（トウモロコシ3件、セイヨウナタネ1件)及び隔離ほ場における試験(ダイズ1件、トウモロコシ2件）に関する承認申請を受け、生物多様性影響評価を行いました。その際、学識経験者からは、生物多様性への影響がある可能性はないとの意見を得ました。この意見を踏まえ、申請書類に記載されている内容の妥当性を確認したので、審査報告書をまとめました。

これらの審査報告書について、国民の皆様からの御意見をいただくため、本日から3月30日（水曜日）までの間、パブリックコメントを実施します。

**■気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書第2作業部会報告書の公表について　2022/3/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/220228.html>

**■「農林水産省が優先的にリスク管理を行うべき有害微生物のリスト」を更新し、「食品の安全性に関する有害微生物のサーベイランス・モニタリング中期計画（令和4年度～令和8年度）」を策定しました　2022/2/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/seisaku/220225.html>

**農林水産省は、食品安全の観点から当省が優先的にリスク管理を行うべき有害微生物のリストの更新を行い、カンピロバクター、サルモネラ、腸管出血性大腸菌、ノロウイルス、リステリア・モノサイトジェネス、E型肝炎ウイルス、A型肝炎ウイルスの7種について、引き続き優先的にリスク管理を行うことを決定しました。また、これらの有害微生物について、令和4年度から令和8年度までの5年間に実施する予定の実態調査の中期計画を策定しました。**

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***人気ブランド公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起　2022/3/9**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027832/>

　人気ブランド公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起を行いました。

詳細

令和3年の春以降、家電製品、台所用品、生活雑貨などの公式通信販売サイトを装った偽サイトで商品を注文してしまったなどの相談が各地の消費生活センター等に数多く寄せられています。

消費者庁が調査を行ったところ、人気ブランドのロゴや商品の画像を盗用した偽の通信販売サイトにおいて、商品を注文して代金を支払ったにもかかわらず商品が届かないという被害(消費者を欺く行為)の発生を確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

人気ブランド公式通信販売サイトを装った偽サイトに関する注意喚起

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_220309_01.pdf>

**■***NEW***「消費者基本計画工程表改定素案」に関する意見募集について　2021/3/9**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/basic_plan/>

　令和4年3月9日～4月7日

**■***NEW***風評被害に関する消費者意識の実態調査(第15回)について　2022/3/8**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027787/>

　　消費者庁では、東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて、「食品と放射能に関する消費者理解増進チーム」を設置し、消費者の理解増進を図る風評被害対策に取り組んでいます。今般、この取組の一環として、風評被害に関する消費者意識の実態調査(第15回)を実施しました。

本調査によると、放射性物質を理由に購入をためらう産地として福島県と回答した人の割合は6.5%、「被災地を中心とした東北」と回答した人の割合は4.9%と、引き続き減少傾向にあります。

また、本年度新たに、風評被害を防止し、売られている食品を安心して食べるため行うべきことを尋ねたところ、「それぞれの食品の安全に関する情報提供(検査結果など)」、「それぞれの食品の安全性に関する情報に触れる機会の増加」及び「それぞれの食品の産地や産品の魅力に関する情報提供」が上位3つとなりました。

本調査の結果を踏まえ、引き続き、食品中の放射性物質に関する情報発信や、福島県を中心とした被災地の農林水産物の魅力等を広くお伝えするための取組を推進してまいります。

公表資料

概要　<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms203_220308_01.pdf>

報告書

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms203_220308_02.pdf>

**風評被害に関する消費者意識の実態調査について**

[https://www.caa.go.jp/disaster/earthquake/understanding\_food\_and\_radiation/#harmful\_rumor](https://www.caa.go.jp/disaster/earthquake/understanding_food_and_radiation/%23harmful_rumor)

**■***NEW***インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する要請について(令和3年10月～12月)　2022/3/8**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/extravagant\_advertisement/#internet](https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/extravagant_advertisement/%23internet)

**■***NEW***第113回消費者安全調査委員会　2022/3/3**

[https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/meeting\_materials\_001/#m113](https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/meeting_materials_001/%23m113)

**■セブンエー美容株式会社、株式会社ダイシン及び株式会社エイチフォーに対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/3/3**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027789/>

　　消費者庁は、本日、セブンエー美容株式会社、株式会社ダイシン及び株式会社エイチフォーに対し、各社が供給する脱毛施術の役務に係る表示について、消費者庁及び公正取引委員会(公正取引委員会事務総局九州事務所)の調査の結果を踏まえ、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第2号(有利誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

セブンエー美容株式会社、株式会社ダイシン及び株式会社エイチフォーに対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220303_01.pdf>

**■連鎖販売業者【株式会社ARK】に対する行政処分について　2022/3/2**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027703/>

　　中部経済産業局が特定商取引法に基づく行政処分を実施しましたので公表します。

詳細

中部経済産業局は、化粧品、健康食品等を販売している連鎖販売業者である株式会社ARK(本店所在地:東京都文京区)(以下「ARK」といいます。)に対し、令和4年3月1日、特定商取引法第39条第1項の規定に基づき連鎖販売取引の一部等(勧誘(勧誘者に行わせることも含みます。申込受付も同じ。)、申込受付及び契約締結)を、令和4年3月2日から令和4年6月1日までの3か月間、停止するよう命じました。

併せて、中部経済産業局は、ARKに対し、特定商取引法第38条第1項の規定に基づき、再発防止策を講ずるとともに、コンプライアンス体制を構築することなどを指示しました。

また、中部経済産業局は、ARKの前代表取締役葉室一政に対し、特定商取引法第39条の2第1項の規定に基づき、ARKに対して命じた取引等停止命令と同じ期間、取引等停止命令により停止を命ずる範囲の連鎖販売取引に係る業務を新たに開始すること(当該業務を営む法人の当該業務を担当する役員となることを含みます。)の禁止を命じました。

なお、本件は、中部経済産業局と石川県が連携して調査を行い、石川県も令和4年3月1日付でARKに対する特定商取引法に基づく行政処分(取引等停止命令(3か月)及び指示)並びに同社の前代表取締役に対する業務禁止命令(3か月)を行いました。

公表資料

連鎖販売業者【株式会社ARK】に対する行政処分について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_transaction_cms203_220302_01.pdf>

**■【若年者の皆様へ】消費生活相談窓口情報　2022/3/2**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/consumer_education/lower_the_age_of_adulthood/inquiry/>

**■「鍵のレンジャー」、「鍵のレスキュー」、「鍵の出張24時間センター」、「鍵の110番24時間」、「鍵のラッキーセブン」、「カギの24時間救急車」、「カギの110番」、「鍵の110番救急車」と称して行われる鍵の開錠・修理等に関する役務の取引に関する注意喚起**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027673/>

　　消費者庁は、「鍵のレンジャー」、「鍵のレスキュー」、「鍵の出張24時間センター」、「鍵の110番24時間」、「鍵のラッキーセブン」、「カギの24時間救急車」、「カギの110番」、「鍵の110番救急車」と称して行われる鍵の開錠・修理等に関する役務の取引に関する注意喚起を行いました。

　詳細

消費者庁が令和4年2月24日付けで、特定商取引法に基づく業務停止命令等を行ったRセキュリティ株式会社(Rセキュリティ)及び株式会社鍵が、「鍵のレンジャー」、「鍵のレスキュー」、「鍵の出張24時間センター」と称してウェブサイトを開設するとともに、「鍵の110番24時間」(株式会社鍵の110番・水道110番名義で開設)、「鍵のラッキーセブン」(株式会社レスキュー名義で開設)、「カギの24時間救急車」(株式会社24時間救急車名義で開設)、「カギの110番」(株式会社110番名義で開設)、「鍵の110番救急車」(株式会社110番救急車名義で開設)とそれぞれ称するウェブサイト(本件各サイト)を開設する関連事業者5社と一体となって、消費者の利益を不当に害するおそれのある行為を繰り返し行っていることが確認されました。

このため、消費者安全法第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

　公表資料

　　「鍵のレンジャー」、「鍵のレスキュー」、「鍵の出張24時間センター」、「鍵の110番24時間」、「鍵のラッキーセブン」、「カギの24時間救急車」、「カギの110番」、「鍵の110番救急車」と称して行われる鍵の開錠・修理等に関する役務の取引に関する注意喚起

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_220225_01.pdf>

関連リンク

訪問販売業者【Rセキュリティ株式会社及び株式会社鍵】に対する行政処分について

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/027608/>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★あさ開「吟醸板粕」 - 返金／回収　商品にポリアミド（ナイロン樹脂）が混入しているおそれがあるため　2022/3/10**

**★相鉄ローゼン「一幸 縞ほっけフィレ、一幸 ほっけ開き、一幸 きんめ鯛開き」 - 返金／回収保存温度の表示欠落（本来の保存温度10℃以下）　2022/3/9**

**★神戸物産「エンジェルバイツ(ピーナッツバター)」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2022/3/9**

**★ソラチ「焼鳥専門ぎんねこ　やきとりのたれ　30g×3袋入」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2022.10.25、正：2021.10.25）　2022/3/9**

**★Wismettacフーズ「トルコ産生鮮グレープフルーツ」 - 回収　食品衛生法第13条第2項違反（防ばい剤「イマザリル」を0.0051g/kg検出）　2022/3/9**

**★ベルク「赤シャリで食べる。サーモンハラス蒲焼丼」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2022/3/9**

**★津具屋製菓「6個たまごロールケーキ、ほか8商品」 - 返金／回収　カビによる汚染　2022/3/9**

**★恵那川上屋「栗きんとんぷりん」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2023年6月15日、正：2022年6月15日）　2022/3/8**

**★ボンペックスジャパン 「YOLO MANGO JUICE（20%マンゴ果汁入り飲料）」 - 返金／回収　エチレンジアミン四酢酸カルシウム二ナトリウム（EDTA）使用基準の超過　2022/3/7**

**★つくば学園通りお煎餅いおり庵「三筍最中」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、乳成分、やまいも」の表示欠落　2022/3/7**

**★ヨークベニマル（若松原店）「7プレミアム銀鮭の西京焼（賞味期限2022年3月6日）」 - 返金／回収　商品ラベルの誤貼付（誤：7プレミアム銀鮭の西京焼、正：7プレミアム銀鮭の塩焼）　2022/3/4**

**★六次産業アベイユ「りんご天然水、ほか7商品」 - 返金／回収　清涼飲料水の製造基準違反　2022/3/4**

**★里山元気ファーム「塩れもん（個装）」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落、栄養成分誤表示　2022/3/3**

**★万惣「赤魚開き」 - 返金／回収　「骨とり 赤魚のみりん」の表示ラベルを添付（名称と内容に齟齬）　2022/3/3**

**★小林食品「チャーシュー小間KM」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2022/3/3**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒の発生について　アユのいずしによるボツリヌス食中毒　2022/3/1　東京都杉並区**

**ボツリヌス菌**

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2022/03/02/07.html>

　探知

２月17日（木曜日）午後0時40分、新宿区内の医療機関から、「2月14日（月曜日）に入院した杉並区在住の患者が、2月16日（水曜日）昼頃から容態が急変し、瞳孔散大、呼吸不全に陥り、人工呼吸器にて管理している。患者は発酵食品を喫食しているようであり、症状からボツリヌス食中毒を疑う。」旨、新宿区保健所に連絡があった。

調査結果

新宿区保健所及び杉並区杉並保健所は、探知後ただちに食中毒の調査を開始した。

患者は1名で、杉並区在住である。現在は新宿区の医療機関に入院中である。

患者は、2月14日（月曜日）朝に胃のむかつき、午後に吐き気、おう吐等の症状を呈し、血圧が低下、午後11時に医療機関へ救急搬送された。

患者は、2月16日（水曜日）昼頃に瞳孔散大、呼吸不全に陥った。

患者は、2月13日（日曜日）夕方に、自宅でアユのいずしを喫食していた。

アユのいずしは、知人が自宅で調理したもので、患者は2月12日（土曜日）に入手していた。

2月12日（土曜日）に入手したアユのいずしを喫食した者で、他に体調不良を呈した者は現時点ではいない。

検査の結果、患者の血清及び自宅に保管していたアユのいずし（開封品）から、E型ボツリヌス毒素を検出した。

決定

杉並区杉並保健所は、本日、以下の理由により、本件を2月13日（日曜日）に自宅で喫食したアユのいずしを原因とする食中毒と断定した。

患者の血清及び自宅で保管していたアユのいずしから、E型ボツリヌス毒素を検出した。

患者の症状及び潜伏期間が同物質によるものと一致していた。

患者を診察した医師から食中毒の届出があった。

※ボツリヌス菌に関する詳しい情報は、福祉保健局のホームページをご覧ください。

措置

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

自動的に生成された説明

　備考

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

　（参考）東京都における食中毒発生状況（ただし本事件は含まない。）

テーブル

自動的に生成された説明

　（参考）東京都におけるボツリヌス菌による過去の食中毒発生一覧

光, 座る, 広場, シルバー が含まれている画像

自動的に生成された説明

**★ウイルスによる食中毒★**

**■次のとおり食中毒が発生したので発表します。　2022/3/6　福岡県築上郡吉富町**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220306.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220304.html>

　１　事件の探知

　　令和４年３月３日（木）、築上郡内の飲食店事業者から、同事業者が経営する施設の利用者複数名が食中毒様症状を呈している旨、京築保健福祉環境事務所に連絡があった。

２　概要

　　同事務所が調査したところ、築上郡内の事業者が製造した弁当の喫食者及び同事業者が豊前市にて営業する飲食店の利用者複数名が食中毒様症状を呈していることが判明した。

　同事務所は、疫学調査及び有症者便等の検査の結果から、本件を食中毒と断定した。

３　発生日時　調査中　判明分：令和４年３月１日（火）7時頃（初発）

４　摂食者数　調査中　判明分：93名（14グループ）

５　症状　調査中　判明分：嘔吐、下痢等

６　有症者数　調査中　判明分：26名（男性12名、女性14名）

うち、6名が医療機関を受診している。　なお、重篤な症状を呈したものはいない。

テーブル

自動的に生成された説明

()内は、受診者数

７　原因施設、原因食品、病因物質

(1)原因施設

　 屋　号：有限会社吉富亭給食センター

　 業　種：飲食店営業

(2)原因食品　 ２月28日～3月2日の間に調理した弁当

(3)病因物質　ノロウイルス

８　措置　営業停止：２日間（３月6日～7日）

９　その他

豊前市にて営業する飲食店については現在調査中のため、摂食者数、有症者数には計上していない。

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１月１９日現在。調査中の事件を除く。）

座る, 電車, 跡, レール が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■食中毒の発生について　2022/3/5　広島県広島市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/269100.html>

　１　事件の概要

　令和４年３月４日（金）午前１０時頃、飲食店「おざき」の営業者から「３月１日（火）に自店が提供した弁当を喫食した複数名が、体調不良を呈している。」との情報があり、調査を開始した。

　　調査の結果、３月１日（火）に「おざき」で調理された弁当を喫食した１グループ１７名のうち１１名が、３月２日（水）から３月４日（金）にかけて、下痢、発熱、嘔吐等を発症していた。

　患者の共通食は、当該施設が調理した弁当のみであること、患者便及び従事者便からノロウイルスが検出されたこと及び医療機関から食中毒患者の届出があったことから、広島市保健所は、この施設が調理した弁当を原因とする集団食中毒事件と判断し、３月５日（土）、「おざき」の営業者に対して、当該施設の営業の禁止を命令した。

２　患者の状況

1. 患者数　１１名（入院なし）
2. 主症状　 下痢、発熱、嘔吐等

３　原因施設

1. 施設名　 おざき
2. 営業の種類　 飲食店営業

４　原因食品　令和４年３月１日（火）に調理された弁当

　　チャーハン弁当（チャーハン、ミンチボール八宝菜、鶏から揚げ、マカロニサラダ、高菜）

５　病因物質　ノロウイルス

６　保健所の対応

1. 患者の発症状況及び喫食状況等の調査
2. 原因施設の立入調査・指導
3. 検体採取

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

　⑷　　原因施設の営業禁止

**★寄生虫による食中毒★**

**■食品衛生法違反者を公表します　2022/3/10　目黒区**

**アニサキス**

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/oshirase/shokuhineiseiihan2200310.html>

　公表年月日　令和4年3月10日

施設の名称　寿し芳

営業の種別　飲食店営業

適用条項　食品衛生法第6条第3号違反により、改正前の食品衛生法第55条を適用（食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律第2条の規定による）

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容　営業停止命令　令和4年3月10日の1日間

備考

患者数　1人

主な症状　腹痛、吐き気、嘔吐

病因物質　アニサキス

原因食品　令和4年2月27日に調理提供した料理

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2022/3/8　板橋区**

**アニサキス**

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kenko/eisei/shokuhin/1003829.html>

　板橋区が行った不利益処分等についてお知らせします。

公表年月日　令和4年3月8日

業種等　魚介類販売業

施設の名称　渡辺商店

主な適用条項　食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号。以下「法」という。）第6条の規定に違反するので、法第55条を適用

不利益処分等を行った理由　食中毒

不利益処分等の内容　令和4年3月8日（1日間）の営業停止命令

原因食品　2月24日に加工した刺身（カツオ・イワシ）

病因物質アニサキス　2月24日にアニサキス患者1名が腹痛を発症

**■サバの押し寿司食べたら腹痛…40代男性の胃から『アニサキス』食中毒と断定し直売所を営業停止に　3/5(土) 18:15配信　石川テレビ　石川県志賀町**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c49f8c868473b4a11951c0d177b1748a95b7ad64>

**■食品等取扱い施設に対する行政処分　2022/3/4　神奈川県相模原市**

**アニサキス**

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kenko/shokuhin/1007409.html>

　発表年月日　令和4年3月4日

業種等　魚介類販売業

施設の名称　ライフ上鶴間店

主な適用条項　第6条第3号

不利益処分等を行った理由　食中毒

不利益処分等の内容　営業の一部停止1日間

備考

原因食品：令和4年2月23日に加工し販売された刺身（いわし）

病因物質：アニサキス

2月23日から患者1名が発熱、激しい腹痛、口と目の周囲の腫脹

**■イワシの刺身食べたら腹痛が…男性の胃から“アニサキス”検出 販売したスーパーの一部営業停止に　3/4(金) 14:25配信　石川テレビ　石川県輪島市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/85cb068fd5d86d24cf59a1554f359db7cc1ed01c>

**食中毒事故の発生について　2022/3/4　石川県輪島市**

**アニサキス**

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kisya/r4/documents/0304yakuji.pdf>

１ 発生年月日（患者の初発年月日）　令和４年３月３日（木）

２ 対象施設

屋号:Aコープ門前店

業種：魚介類販売業

３ 発生の端緒

令和４年３月３日（木）１６時頃、輪島市内の医療機関から「腹痛を訴え受診した患者の胃から、アニサキスを摘出した。」旨、能登北部保健福祉センターに電話があった。

４ 調査内容

能登北部保健福祉センターの調査では、

 患者は３月２日(水)１８時頃に、自宅でイワシの刺身を喫食していたこと

 患者の症状及び潜伏時間が胃アニサキス症と一致していること

 アニサキス症の原因食品となる生鮮魚介類の喫食は当該品のみであること

 患者の胃からアニサキスが摘出され、医師から「食中毒患者等届出票」が提出されたこと

から、この販売店が販売した魚介類を原因とする食中毒と断定した。

５ 患 者　１名（男性、６０歳台 ）　患者は医療機関を受診したが、回復傾向にある。

６ 主な症状　腹痛

７ 原因食品　３月２日(水)に当該施設が調理、販売した刺身（イワシ）

８ 病因物質　 アニサキス

９ 措 置

能登北部保健福祉センターでは、３月４日(金)の１日間、当該施設を営業停止処分にするとともに、従業員に対する衛生教育の実施を指示した。

参考 食中毒発生状況

令和３年度(４月から本日まで本件を含む) １４件 患者 ７６人(うち金沢市８件 ５７人)

令和２年度同期 ８件 患者 ２５人(うち金沢市４件 ８人)

令和２年度通年 １１件 患者 ３１人(うち金沢市５件 ９人)

**■令和4年発生状況　2022/2/28　山形県最上保健所管内**

**アニサキス**

<https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/r4jokyo.html>

　発生年月日　2022/2/28

　探知年月日　2022/3/1

　原因施設所在地(患者の所在地)　不明

　摂食者数　２名

　患者数　１名

　原因施設　不明

　原因食品　不明

　病因物質　アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2022/3/9　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/5/2/2/5/4/4/_/040309-04ityouen.pdf>

　富良野保健所　幼稚園　19名　ノロウイルス

1. 発生の探知　2022/3/7に、富良野保健所管内の幼稚園から、複数の園児等が、おう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　富良野保健所管内の幼稚園の園児16名及び職員３名が、2月25日から3月5日にかけて、おう吐、下痢などの症状を呈し、13名が医療機関を受診し、うち４名が入院した。

　3.現在の状況　3月9日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。また、入院者４名のうち３名は回復し、既に退院している。（入院中の１名も快方に向かっている。）

　4.経過

　　2月25日～3月5日　おう吐、下痢等の有症者発生

医療機関等において有症者のうち８名の便を検査した結果、7名からノロウイルスを確認

　　3月7日　幼稚園から保健所に通報

　5.感染経路　現在調査中

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2022/3/8　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/5/2/2/5/5/0/_/040308-03kansen.pdf>

　江別保健所　介護保険施設　12名　ノロウイルス

1.発生の探知　2022/3/4に、江別保健所管内の介護保険施設から、複数の入居者及び職員が、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　江別保健所管内の介護保険施設の入所者8名及び職員３名が、2月26日から3月2日にかけて下痢などの症状を呈し、うち5名が医療機関を受診した。

　3.現在の状況　3月8日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

　4.経過

　　2月26日～3月2日　下痢等の有症者発生

　　3月4日　介護保険施設から保健所に連絡あり

3月4日～５日　医療機関等において受診者の便を検査した、5名からノロウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

**■北九州市の幼稚園で感染性胃腸炎か　集団発生　3/3(木) 0:15配信　九州朝日放送**

**感染症　ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e7ee0ce905aceda3c023b966e8721c76e38bfddd>

　　北九州市の幼稚園で、園児らおよそ６０人がノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸炎に集団感染した疑いがあることが２日分かりました。

北九州市によりますと感染性胃腸炎が疑われる集団発生が起きたのは小倉北区にある幼稚園で、今月１日から２日までに合わせて園児５６人職員５人に下痢や嘔吐の症状があるということです。重症や入院している人はいません。

園児２人と職員１人からノロウイルスが検出されています。

北九州市では今年に入って先月までに保育所や幼稚園など１１件で感染性胃腸炎が疑われる集団発生がおきています。

市では、食事の時やトイレなどの共用スペースで感染することが多いとしてこまめな手洗いの徹底を呼びかけています。

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■**

**★その他関連ニュース★**

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が5週連続で減少 - RSウイルスとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

**も　3/8(火) 13:05配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b9c0ed9724b81a56304b672df50a33003a79a014>

**■インフルエンザ、14道府県から計27人の報告 - 厚労省が第8週の状況公表**

**3/4(金) 16:15配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/02a785d4f34b8e471cf5e5af765183a24e794eff>